
赤い風船 ～今を生きるあなた達へのメッセージ～

プルート

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

赤い風船　く今を生きるあなた達へのメッセージ

【Nコード】

N1049C

【作者名】

ブルート

【あらすじ】

地球が滅ぼうとしている3000年。最後の人類によって作られた風船が、今を生きる私達へ送る”最後のメッセージ”。環境問題について本気で考えた作品です。

私は赤い風船。

真つ黒な空に赤い海の3000年。

もうこんな世界にいたくない。

さあ、でかけよう、楽園へ！

私がいる所の人間は歳をとりすぎている。

子供なんてひとりもない。

さらに、この人間はひとりしかない。

私はその人に作られた。そのひとも今日で
終わりだ。最後にさわったその人の手は、温
かだった。さあ、出発だ。

風はゆらゆら船のように私を運んでくれて
いる。私はふと、下を見た。下はすべて真つ
赤に染まった海。私は思った。どうしてここ
は海なのに、あの人の家は陸なんだろう。
そういえば、前にあの人が言っていた。昔、
人間は電気というものを使い過ぎたせいで氷
が溶け、陸はみな海になってしまったと。
しかし、奇跡的にあの人の島は助かったと。
そしてたすかった人たちはみなその島に住ん
だ。私は今度、上を見た。空は真つ黒に染
まっていた。

これもあの人が言っていた。その何百年後、
何かの理由で月が割れ、それが島に落ち、
島はほとんど沈み、人間もほとんど死んだと。
しかし、あの人の家族は生きていて島の残っ

た部分に住み、あの人を生んだと。
やがて、家族も寿命を迎え、あの方はひとり
ぼっちになってしまってしまった。
その後、あの方は私を作った。

今思った。もしかしたら、この先ずっと同
じ景色かもしれない。生き物はあの人だけか
もしれない。そう考えると帰りたくなった。
でも、もう戻れない。私は悲しくなった。もう
あの人とも会えない。そう考えただけで、心
が痛い。その時、空から赤い固まりが落ちて
きた。隕石だ。風が急降下して私は海に潜り
込んでしまった。海の中は苦しい。それに何
かに、ひっぱられてる。ついに、視界が真っ
暗になった。

あの人に会いたい。一度でいいからもう一度。

ピカッと辺が光ると何かが見えてきた。
わーーーーっ。すごい。あの方の家よりも高
いものがいくつも立っている。風が私をその
上まで連れてつてくれた。何やら書いてある。
2005。そうか、私、過去に来たんだ。
下にあの人よりも小さい人がいる。もしかし
てこれが子供。私は次に海を見た。すごい。
空も海も青だ。やがて空が暗くなった。きれ
い。そしてアレが光り始めた。あれが電気か
な。あれが無ければ私はずっとこの景色を見
てられるんだな。でもよかった。ちがう時代
でもちがう景色が見れて。だんだん体が重く
なってきた。そして、パン、プシューと鳴っ

て海へ真っ逆さまに落ちて行つた。

誰かの声がする。そつと目を開けてみると、あの人がいた。そつか。私帰つて来れたんだ。泣いてる。この人ずつとひとりぼっちだったもんね。ごめんね。

その時、空に光があふれでた。

そして、海も引いていき、なんとそこから赤ん坊が出てきた。

新しい世界が始まつた。

よかったね。もうひとりぼっちじゃないね。私はそつと目をとじた。

完

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1049c/>

赤い風船 ～今を生きるあなた達へのメッセージ～

2010年10月11日20時18分発行